



新年のごあいさつ

防災対策の推進とこども政策の充実 新たな勝山市の実現へ

新年あけましておめでとございます。
市民の皆さまにはご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まり3年を過ぎようとしています。感染対策を徹底しながらアフターコロナを見据える1年になると期待しています。

引き続き、勝山市医師会のご協力のもとワクチン接種の推進に努めてまいります。

長引くコロナ禍により市民の皆さまのお声を聞く機会が制限されてきましたが、今年には各地区や各団体での意見交換会を積極的に開いてまいりますので、ぜひお声がけください。

防災対策の推進

昨年8月4日に勝山市北部を襲った大雨により皿川、野津又川、滝波川など多くの河川で溢水、越水による床上床下浸水が発生、また河川の擁壁が破壊され、農地や農業用水路などに甚大な被害が発生しました。地域コミュニティの持続を念頭に全力で復旧にあたっております。

また、今回の大雨災害を踏まえ、災害時における情報伝達や情報収集について改善を進めてまいります。大規模災害時には各まちづくり会館を地区災害対応支部として位置付け、きめ細かい対応を進めてまいります。さらに10月に新たに採用した防災安全専門員を活用して安全安心な地域づくりを目指してまいります。



勝山市では、「こども政策」をこれまで以上に強力に推進し、質の高い幼児教育・保育、子育ての充実、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との連携強化、学校教育と子育て支援の連携などの実現を図るため、令和5年4月より、勝山市役所の組織改編を実施します。

「こども課」を新設へ 子育て環境の充実をめざして

組織改編の効果

「こども政策」をワンストップ化

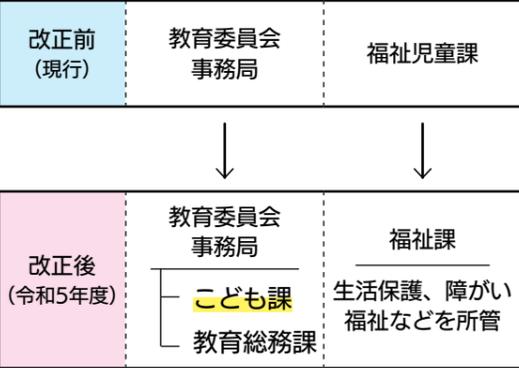
幼稚園・保育園・認定こども園を一体的に管理し、小学校就学前の子どもの教育環境や家庭の子育て支援を行うため、次のことについて強化します。

- 幼稚園、保育園、認定こども園の質の高い幼児教育と小学校教育との円滑な接続および連携の強化
- 学校から家庭までを幅広く支援するため、小学校と児童センターなどの連携の強化
- 学校および家庭の相談体制の強化

市役所の組織が変わります

「こども課」を新設します

教育委員会事務局に「こども課」を新設します。



「こども課」の組織体制(案)

「こども政策」を推進するため、「こども課」には、専門知識を有した職員を配置し、次の係を設置する予定です。

- 質の高い「こども教育」を推進する係
教諭・保育士を配置し、幼児教育を指導・支援します。
- 子育て相談を行う係
ひとり親家庭や育児で困難を抱える家庭を支援します。
- 幼稚園・保育園・認定こども園を一括管理する係
就学前児童の施設などを一括して管理します。
- 子ども・子育て支援を行う係
児童手当や子ども医療の助成など子育て世帯への支援を行います。

こども政策の充実

私の生まれた昭和34年に年間700人を超えていた勝山市の出生者数ですが、令和3年度には109人にまで減少しています。

記憶の中にある村祭りや地区の遊び場での思い出や運動会、遠足の賑やかだった思い出は、同じ年に市内で生まれた700人の仲間たちとの共通のイメージだと思えます。しかし、少子化時代の今のこどもたちには想像することもできないのが現実です。少子化の中であっても新しい充実した政策を進めることで、こどもたちや子育て世代の思いに答えたいと考えています。

本年4月1日から福祉事務所の子育て支援部門を教育委員会に移管し、新たに「こども課」を新設します。就学前児童の小学校入学をスムーズに移行し、児童センターと小学校を一体的に運営することで家庭と学校を一体的にサポートしこどもの自立を支援してまいります。



勝山市長 水 上 実 喜 夫

また、教育会館を「こども会館」として子育て支援機能を集約します。加えて、中央公園の屋内遊戯場と屋外遊戯場を一体的に整備し、市民の皆さまがわくわくするような施設を目指します。

防災対策、こども政策以外にも民間活力による産業振興やまちづくり会館を活かした地域福祉の向上などに全力で取り組んでまいります。

令和5年が皆さま方にとって素敵な一年になりますよう心からお祈りし、結びとさせていただきます。